

2022

1/8 SAT → 4/10 SUN

あの人どんな顔？

「肖像」の

魅力に迫る



津端道彦「舎人親王図」(多摩市教育委員会蔵)

休館日／毎週月・水曜日、1月11日(火)、13日(木)、18日(火)、25日(火)、2月8日(火)、15日(火)、22日(火)、24日(木)、3月22日(火)※1月10日(月・祝)、2月23日(水・祝)、3月21日(月・祝)は開館

開館時間／10時～16時

料金／入館無料

注意事項／○来館の際はマスク着用をお願いします。
○混雑を避けるため、人数制限を行う場合があります。
○新型コロナウイルス感染症の影響により、中止等となる場合があります。

旧多摩聖蹟記念館

【問い合わせ先】

多摩市教育委員会教育振興課文化財係

TEL 042-3338-6883

旧多摩聖蹟記念館 多摩市連光寺5-1-1(都立桜ヶ丘公園内)

TEL 042-337-0900

あの人どんな顔？

「肖像」の魅力に迫る

特定の人物の顔や姿を絵画や彫刻などで表す「肖像」は、日本のみならず世界中で古くから制作され、現在に伝わっています。

当館の所蔵品中にも、公文菊僊の描いた「坂本龍馬肖像」や「金子孫二郎肖像」などをはじめとする「肖像画」が複数含まれています。また、当館の中央に安置される渡辺長男「明治天皇騎馬像」も、明治14年に明治天皇が連光寺で兔狩りを行った際の姿を留めた「肖像」です。



相沢伴主「自画像」(多摩市教育委員会蔵)



公文菊僊「坂本龍馬肖像」(多摩市教育委員会蔵)

「肖像」には、自分や家族などの身近な人を描いたものや、同世代に活躍した人の功績を称えるために制作されたもの、あるいは歴史上の人物の遺業を称えるために制作されたものなど様々あります。現在のように写真が一般的に普及していなかった時代、絵画や彫刻による「肖像」は、その人のイメージを世に留めるという重要な役割を果たしていました。さらに、歴史上の偉人たちに思いを馳せる際にもこうした「肖像」は役立っていました。

本展では、当館の所蔵品を中心に様々な「肖像」を紹介し、その魅力に迫ります。



義公銅像建設本部「徳川光圀像家訓」
(多摩市教育委員会蔵)



武石蕙山「源義公尊像」(多摩市教育委員会蔵)



【交通案内】

- 京王線聖蹟桜ヶ丘駅から聖ヶ丘団地經由永山駅行バス「記念館前」下車徒歩5分
- 京王相模原線・小田急多摩線永山駅から聖ヶ丘団地經由聖蹟桜ヶ丘駅行バス「記念館前」下車徒歩5分
- 車で来館される場合は、都立桜ヶ丘公園駐車場(無料)をご利用ください。